

2020年度 第1回点検評価委員会議事概要

1. 日 時 2020年7月29日(火) 17:35～19:15
2. 場 所 1号館2階 特別会議室および Teams 会議を併用して実施
3. 出席者 林校長(委員長)、伊藤副校長(教務主事)、坂牧学生主事、古森寮務主事、江崎研究主事、宮崎専攻科長(図書館長)、片岡商船学科長、林電子機械工学科長、出江情報機械システム工学科長、鈴木一般教育科長、坂野事務部長
4. 陪席者 五十棲総務課課長、奥村企画・地域連携係長、窪田教員
5. 配付資料 資料1 令和2年度 鳥羽商船高等専門学校 自己点検評価表

6. 議 事

○令和2年度 鳥羽商船高等専門学校 自己点検評価表について

本委員会の前に各委員に対して自己点検評価表の項目ごとに評価を依頼し、5名の委員から評価の回答を得た。本委員会では、項目ごとに各委員からの評価を審議し、学校としての自己評価を判定する形式で進められた。なお、評価は達成度 80%以上をA評価、達成度 60%～80%未満をB評価、達成度 60%未満をC評価とした。

委員の多数が同じ評価をつけている場合は、その評価を採用し、判断が分かれている場合は、審議し、最終的に委員長判断により評価した。

基準	No.	視点	観点	根拠資料	実施状況	自己評価	改善点
1.教育の内部質保障システム	1-A	自己点検評価の実施と改善	(1) 自己点検・評価の基準や方法に関する継続的な見直しが行われているか。	自己点検評価基準 自己点検・評価を定期的に行っていることがわかる資料	点検評価規則を改正するとともに評価、実施体制の見直しを行った。定期的に、点検評価委員会を実施している。	A	
			(2) 学生、保護者、教員、卒業生、企業等の意見聴取が行われ、自己点検評価に反映されているか。	根拠となるアンケートや資料の収集・蓄積状況がわかる資料 意見聴取の実施状況がわかる資料1-6 授業アンケートに関する自己点検評価結果 在学生のアンケートに関する自己点検評価結果 既卒・修了学生のアンケートに関する自己点検評価結果 就職・進学先のアンケートに関する自己点検評価結果 30年度教育内容アンケート回答 29年度進学・卒業・就職先アンケート回答表 機関別認証評価の評価結果 運営諮問委員会の報告書	学生、保護者、教員、卒業生、企業等の意見聴取のため、アンケートを実施している。授業アンケートでは、各教員から授業改善案が提出され、保護者懇談や奨学後援会からの意見や要望はとりまとめて、全教員で共有している。	A	
			(3) 自己点検評価や第三者評価が教育の質の改善に結びついているか。	自己点検・評価結果を改善する実施体制がわかる資料 平成25年度機関別認証評価指摘事項への対応①～⑧ STCW条約に基づく資質基準制度に関する外部監査結果 監査結果を受けた改善の取り組み	STCW条約に基づく資質基準制度に関する外部監査の結果を受け、事務組織が変更されてもマネジメントレビューを継続的に実施できるシステムとし、教育の質改善に努めた。	B	・STCWは商船学科のみが対象で、全学的な教育の質改善に結びついているとは言い難い。
1-B	3ポリシーの見直し	(1) 3ポリシーが社会の状況の変化等に応じて適宜見直されているか。	3ポリシー新旧対照表 運営委員会資料(2020/4/21) (卒業生・就職先)アンケート依頼文書 (卒業時)アンケート依頼文書	現在の社会状況に合わせ、3ポリシーの見直しを検討し、修正した。	A		
2.教育組織・教員・教育支援者等	2-A	組織構成及び運営体制	(1) 学校の教育に係る組織構成が適切なものであるか。また、運営体制が適切に整備され機能しているか。	学科の構成を示した資料 専攻科の構成を示した資料 運営体制を示した資料 運営体制を規定した規則 各種委員会の開催状況がわかる資料	教育組織として、適切な学科を配置しており、また、運営体制については、規定された規則通り、適切に機能している。	A	開催回数が10回の委員会があるが、これは必要に応じて開催する委員会であるが、存続させるが、常置委員会の再編を検討する必要がある。
	2-B	教員の配置及び採用・昇任	(1) 必要な教員が適切に配置されているか。 (2) 教員の採用や昇任に関する基準が適切に配置されているか。	担当教員一覧 教員の教育活動実績の評価に係る規程 教員の教育活動実績の評価について明示した資料 教員の採用や昇任に関する基準が示された規則 教員の採用に関する手続がわかる資料 教員の採用について教育上の能力等を確認する仕組みとなっていることがわかる資料①②	各学科、専攻科における、専門科目、一般教育科目を担当する教員が、専門分野に基づいて配置されている。 教員の採用や昇任に関する基準が定められており、模擬授業による選考を実施するなど、教員の資質に関する審査を実施している。	A A	
	2-C	FD	(1) FD活動が実施され、改善に結びついているか。	FDの実施状況 FDの実施案内 FDに関する報告書	毎年定期的にFDを実施しており、その報告書が提出され、教員の資質向上、運営上の問題点の改善につながっている。	A	
3.学習環境及び学生支援等	3-A	施設・設備	(1) 学校の施設・設備が適切な安全・衛生管理の下に活用されているか。	高等専門学校現況表 パトロール点検の実施状況がわかる資料 教育・生活環境の利用状況や満足度を学校として把握しているか わかる資料	教育・研究に必要な設備については所管の係において使用簿や鍵の授受が行われており、適切に管理されている。また、安全・衛生管理についても毎月、安全衛生委員会において点検が実施されている。	A	一部問題がある事例が見受けられたが、全体として機能しているかと判断できる。
			(2) ICT環境が十分なセキュリティ管理の下に整備され、活用されているか。	ネットワーク環境の整備状況がわかる資料①② セキュリティ管理に関する規程① ICT環境の利用状況がわかる資料 ICT環境の利用状況を把握していることがわかる資料	ICT環境を安全に保つために、総合情報センターを中心にセキュリティ強化に努め、教職員の意識強化も行っている。	A	
			(3) 図書、学術雑誌、視聴覚資料等が系統的に収集、整理され、有効に活用されているか。	図書館の概要 整備状況がわかる資料 図書館資料の所蔵状況 学科推薦図書一覧 図書館の利用状況がわかる資料	学生推薦図書や視聴覚資料も最新の情報を元に収集し、陳列を工夫することで利用者の増加を図っている。また、学術雑誌についてもそれぞれの教員が注文することで安定した供給を保っている。	A	利用状況は分野によって異なるが、資料からは1日の利用人数を見ても多いと判断できる。
	3-B	学生支援	(1) 新入生に対し、履修指導、設備等利用ガイダンス等が実施されているか。	学科生対象のガイダンス実施状況がわかる資料 専攻科生対象のガイダンス実施状況がわかる資料 ガイダンス資料、実験実習安全必修	学科生、専攻科生に対して資料配付を行いながら利用ガイダンスを実施している。	A	
			(2) 学生の自主的学習に対する相談、助言体制が機能しているか。	担任制の整備状況がわかる資料 海外への留学支援体制の分かる資料 資格試験・検定等の支援体制の整備状況がわかる資料 TOEIC対策講座の受講者数を示した資料 学級担任制度の機能状況がわかる資料 学習支援制度の機能状況がわかる資料	学級担任の業務として個々の学生への対応を充実させている。また、学習推進支援室が学生の自学自習の習慣を引き出すための援助を行っている。	A	学科によって異なるが、学生に張り付けて指導する仕組みも必要か。
			(3) 留学生、編入生、障害のある学生への学習・生活支援が行われているか。	留学生に対する支援体制の整備状況がわかる資料 留学生を支援する取組がわかる資料 編入学生に対する支援体制の整備状況がわかる資料 社会人学生に対する支援体制の整備状況がわかる資料 障害のある学生に対する支援体制の整備状況がわかる資料 障害のある学生を支援する取組がわかる資料	留学生への支援については、グローバル教育推進室を中心に対応を行っている。編入学生については今年度2名の受験生があり、最近の編入実績がないものの、学級担任が細かな対応を行える体制を整えている。また、障害のある学生への対応として、校内のバリアフリー化など積極的に整備し、支援体制についても整えている。	A	
			(4) 学生の経済面や健康面に対する相談体制は機能しているか。	学生相談室の整備状況がわかる資料 相談員やカウンセラーの配置状況がわかる資料 ハラスメント等の相談体制がわかる資料 学生に対する相談の案内がわかる資料 奨学金の体制の整備状況がわかる資料 授業料減免の体制の整備状況がわかる資料 奨学金利用実績 健康診断・保健指導に関する資料 学生相談室の利用状況がわかる資料 授業料減免制度の実施状況がわかる資料	奨学金、授業料減免の制度などを積極的に活用し、学生への経済的な援助を行える体制を確立している。また、学生相談室、スクールカウンセラーの配置を行うことで、学生の心身の健康面に対する相談体制を樹立している。	A	
		(5) キャリア教育、進路指導体制は機能しているか。	キャリア教育の体制が整備されていることがわかる資料 キャリアガイダンスの実施状況がわかる資料 就職指導講演会の実施状況がわかる資料 進路指導室の設置状況がわかる資料 就職担当教員一覧を示した資料 資格取得による単位修得の認定がわかる資料 インターンシップの取組状況がわかる資料	キャリア教育推進室が、様々な講演会やセミナーを開催しながら、担当教員による日々の指導体制を充実させている。	A		
		(6) 課外活動に対する支援体制は有効に機能しているか。	課外活動に関する規程を示した資料 課外活動に関する組織図を示した資料 課外活動に関する施設の整備状況を示した資料 課外活動に対する支援活動の内容がわかる資料 学生会への学校としての支援体制責任体制	課外活動や学生会活動に対して、顧問体制を置くことで学校としての指導体制を確立させている。	A		
		(7) 学寮が生活および勉学の場として整備され、有効に機能しているか。	学生寮の整備状況がわかる資料 生活支援の内容がわかる資料 学習支援の内容がわかる資料 入寮状況のわかる資料 学生寮の管理運営規程を示した資料 学生寮の運営に関する資料	寮務主事室を中心に、学生寮の個室化を推進し、学生寮での生活指導を行い、単なる生活の場だけではなく、勉学の充実を図るよう学習支援制度を樹立している。	A		

基準	No.	視点	観点	根拠資料	実施状況	自己評価	改善点	
4. 財務基盤及び管理運営	4-A	財務	(1) 学校の目的に沿った教育研究活動を遂行できるだけの財務基盤を有しているか。	過去5年間の貸借対照表 過去5年間の損益計算書 長期未払金の内訳を確認できる資料 過去5年間の運営費交付金、授業料、入学金、検定料等の収入状況がわかる資料 過去5年間の損益計算書	本校の目的に沿った教育研究活動を遂行するために必要な運営費交付金、授業料、検定料等の経常的な収入を確保している。	A	運営費交付金の配分額の範囲内で運営できている。	
			(2) 学校の目標を達成するための活動の財務上の基盤として、適切な収支に係る計画等が策定され、関係者に明示されているか。	収支に係る方針や計画策定を示した資料 予算の教職員への明示状況を把握できる資料	予算に係る計画については、学校運営委員会において当初予算配分方針(案)を審議の上決定し、その方針により適切に配分している。また、教員会議において報告するとともに会議資料を学内グループウェアに公開し、教職員が閲覧できる状態にしている。	A	・学校運営委員会の審議の前に意見がくみ上げられるような仕組みを進めており、例えば各主事からの意見が反映されるなど改善が図られて	
			(3) 学校の目的を達成するため、教育研究活動に対する資源配分を、学校として適切に行う体制が整備され、実際の予算配分が行われているか。	予算配分実績がわかる資料 施設整備費の配分実績がわかる資料 校長裁量経費の配分実績がわかる資料 予算配分に係る審議状況がわかる資料 予算配分方針がわかる資料 予算の教職員への明示状況を把握できる資料	高専機構から通知される事業年度ごとの収支予算額に基づき、当初予算配分方針(案)を策定し、学校運営委員会において審議の上決定している。また、校長裁量経費を設け、柔軟に予算執行を図っている。	A		
			(4) 学校を設置する法人の財務諸表等が適切な形で公表されているか。また、財務に係る監査等が適切に行われているか。	設置者が財務諸表等を作成・公表している状況がわかる資料 学内会計監査規程 公的研究費に関する内部監査マニュアル 学内監査の報告書(公的研究費監査報告書) 国立高等専門学校間の相互監査報告	高専機構として、ひとつの財務会計システムを構築しており、年度末決算後、このシステムにより財務諸表等を作成し、高専機構ホームページで公開している。監査関係については、毎年学内で会計監査を実施しており、他高専の職員による相互監査については第3ブロック内で三高専による相互監査を実施している。	A		
	4-B	管理運営	(1) 管理運営の諸規程が整備され、各種委員会及び事務組織が適切に役割を担い、効果的に活動しているか。	管理運営に関する諸規程がわかる資料 委員会の体制を整備していることがわかる資料 校長、主事等の役割分担がわかる資料 校長、主事等の役割分担がわかる資料 教員と事務職員が構成員として構成されている合議体がわかる資料 各種委員会の開催状況がわかる資料	管理運営の諸規程は、鳥羽商船高等専門学校の組織及び管理運営に関する規則を基本とし、各種委員会等規則を制定している。	A	根拠に足る資料はあり、効果的であると判断できる。	
			(2) 危機管理を含む安全管理体制が整備されているか。	危機管理に関する規程 危機管理対応マニュアル 危機管理に関する訓練や講習会の実施状況がわかる資料	平成23年に鳥羽商船高等専門学校危機管理規則を制定、本校にリスク管理室を設置し、危機管理体制の充実に努め、必要な危機管理に当たっている。また、令和元年度に危機管理対応マニュアルを改訂し、これに基づき危機管理対応を行っている。	A	危機管理室で情報は適切に管理している。公開出来る範囲で情報公開する。	
			(3) 外部の教育資源が積極的に活用されているか。	外部の教育研究機関を活用していることがわかる資料	本校では学校の目的を達成するために、国内外の高等教育機関、地方自治体、地域の公的機関と協定を結び外部教育資源を活用している。	A		
			(4) 管理運営のための組織及び事務組織が十分に任務を果たすことができるよう、研修等、管理運営に関わる職員の資質の向上を図るための取り組みが組織的に行われているか。	SDを実施していることがわかる資料	管理運営のための組織及び事務組織が十分に任務を果たすことができるよう、職員別に研修を実施している。	A		
	4-C	情報の提供	(1) 学校における教育研究活動等の状況についての情報が公表されているか。	刊物物の該当箇所がわかる資料	学校における教育研究活動等の状況について外部に情報を発信するため、研究シーズ集を編集し、公表している。	A	毎年更新作業を行っている。	
	5. 準学士課程の教育課程・方法	5-A	教育課程の編成と実施	(1) GPIに基づくカリキュラムとなっているか。	教育課程一覧を示す資料	GPを基準として、各フェーズごとに大別された教育課程を整備している。	A	
				(2) カリキュラムには、学生、社会のニーズが反映されているか。	インターンシップによる単位認定の実施状況がわかる資料 シラバス 外国語の基礎能力の育成に関する実施状況がわかる資料 他の高等教育機関との単位互換制度の実施状況がわかる資料 資格取得に関する教育の実施状況がわかる資料	学生の学習活動の多様性に対応できるようなカリキュラムになるよう最新の情報に更新している。	A	
				(3) 創造力や実践力を育む教育が行われているか。	創造力を育む教育方法の工夫がわかる資料 令和2年度3・4年生の工学実験についてインターンシップの実施状況がわかる資料	学生の創造力を育成するための授業や実習を実施できるような教育課程を構成している。	A	
5-B		授業形態・指導方法	(1) 学習指導上の工夫が行われているか。	授業形態の割合 教材の工夫の実施状況がわかる資料 少人数教育の実施状況がわかる資料 対話・討論型授業の実施状況がわかる資料	教科の内容に合わせて、授業形態や指導方法にも創意工夫が行われている。	A		
			(2) GPIに沿って適切なシラバスが作成され、活用されているか。	シラバスの作成要領を明示した資料 シラバスの具体例を示した資料 シラバス、ルーブリック 授業アンケート設置 学生のシラバス活用状況を把握する資料 後期授業アンケート クラス平均	GPIに掲げられた方針を元に、各フェーズごとのシラバスを作成し、その段階を履修できるよう工夫を行っている。	A		
			(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。	1単位当たり30時間を確保していることが確認できる資料 授業時間割(時間帯)を示した資料 学修単位シラバス 新4年生対象 選択科目説明会時の学生配付資料 学修単位(授業アンケート)	学修単位のあり方を学生に周知して、自学自習に取り組める体制作りを行っている。	A		
5-C		成績評価・単位・卒業認定	(1) 成績評価基準、単位認定基準、卒業認定基準の周知が図られているか。	成績評価や単位認定に関する規定を示した資料 成績評価が適切に実施されていることがわかる資料 成績単票 化学1-澤田 圭樹 授業時間以外の学修についての評価を学校として把握していることがわかる資料 学業成績の評定並びに修了及び卒業に関する内規抜粋 周知を図る取組の内容がわかる資料①(Webシラバス) 学生の認知状況がわかる資料	ウェブシラバスを活用し、成績評価基準、単位認定基準、卒業認定基準など学生自らも確認できるようにし、学年・学期の初めには担当教員がそれぞれの基準について授業中に周知する制度を整えている。	A		
			(2) 成績評価は適切に行われているか。	学業成績の評定並びに修了及び卒業に関する内規抜粋 追試・再試の成績評価の規定を示した資料 学生からの意見申立の機会等の規定等がわかる資料 GPASコア算出方法 重み付け平均法による成績分布図 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料 シラバス・評価の妥当性・答案の返却 成績一覧表	シラバスの成績に係る項目の細目についても明記し、学生自身が成績基準について把握することが可能になっている。また、教科担任の方でも授業中に学生への周知を行っている。	A		
			(3) 進級・卒業認定は基準に従って適切に行われているか。	修業年限を定めていることがわかる資料 卒業認定基準を定めている規程 卒業認定に関する委員会の会議資料 進級・卒業 教室掲示	成績評価を明確にした上で、基準に沿って進級・卒業認定を行う体制になっている。成績評価の数値を明確にすることで学生に対する説明も納得がいくように確立している。	A		
6. 学生の受け入れ	6-A	APIに沿った学生の受け入れ	(1) APIに沿った入学選抜方法となっているか。	令和2年度の入学選抜方法が明示された資料 体験学習選抜の課題 推薦選抜の作文の課題	APの方針に沿った選抜を行うことを募集要項に明記し、そのための評価項目と配点方法を検討したうえで入学選抜を行うことで、APIに沿った学生の選抜を行っている。	A		
			(2) 入学者がAPIに沿っているか、入試方法への反映はなされているか。	検証する体制が明示されている資料 入学選抜方法の改善を行っていることがわかる資料 入学動機に関するアンケート	入試選抜の制度は、毎年教務委員会で検証・改善を行っており、APIに沿った選抜を実施している。各入試の評価項目や配点については毎年検証を行い、入学後の成績追跡調査、アンケート等の情報も含め、次年度の入試に反映している。	A		
			(3) 増募対策は効果的に行われているか。	平均入学定員充足率計算表 検証する体制が明示されている資料	地元地域の少子化に対して、本平均入学定員充足率計算表の結果は良好であり、増募対策は効果的に行われている。	A	細かな検証が難しいが、全体として効果的に行われていると判断できる。	
			(4) 入学定員に照らして入学者数は適正か。	平均入学定員充足率計算表	平均入学定員充足率計算表を作成し、適正な人数の入学者を受け入れていることを確認している。	A		

基準	No.	視点	観点	根拠資料	実施状況	自己評価	改善点
7. 学習・教育の成果	7-A	学習・教育の成果	(1) 成績評価、卒業認定の結果から、DPIに沿った学習・教育の成果が認められるか。	卒業認定の結果を示す資料 退学者数等一覧を示す資料 学生身分異動状況を示す資料 学習・教育の成果を把握していることがわかる資料	教育理念に基づき、学力について学科毎のDPを定め、教育課程により定められた科目を修得した学生に卒業を認定しており、卒業認定、退学者、学習・教育の成果等から、DPIに沿った学習・教育の成果が認められると判断する。	A	
			(2) 卒業時の学生、卒業後5年程度の卒業生、就職先等の意見聴取の結果から、学習・教育の成果が認められるか。	卒業生・修了生からの意見聴取の結果を示す資料 進路先関係者等からの意見聴取の結果を示す資料	卒業生・修了生、進路先関係者等からのアンケート結果より、学生・卒業生および進路先関係者等はいずれの学科においてもほとんどの項目で高い満足度であり、DPIに沿った学習・教育の成果は認められる。	A	
			(3) 最近5年間の就職率、進学率から判断して、学習・教育の成果が認められるか。	卒業生の進学先一覧を示す資料 卒業生の就職・進路先等を示す資料	就職率、進学率は、それぞれ多少の変動はあるが、両者を合わせた割合は、ほぼ100%と取る。この結果から、学習・教育の成果は認められる。	A	
			(4) 就職先、進学先は養成しようとする人材像に適したものとなっているか。	卒業生の進学先一覧を示す資料 卒業生の就職・進路先等を示す資料 過去5年間の企業求人	各学科のCPおよびDPIに沿った知識・能力・適性に対応した企業への就職、大学等への進学を果たしている。また進路先において、本校卒業生の専門的な知識・能力・適性について高い評価が得られていることから、就職先・進学先は養成しようとする人材像に適したものとなっている。	A	
8. 専攻科の教育活動の状況	8-A	専攻科教育課程の編成、学習指導、成績・修了認定	(1) CPIに基づくカリキュラムとなっているか。	特例適用専攻科の認定に係る資料	特例認定専攻科としての審査に合格しており、CPIに基づくカリキュラムとなっている。	A	次年度に検討していく。
			(2) CPIに照らして講義、演習、実験、実習等のバランスが適切であり、学習指導上の工夫は行われているか。	授業形態の開講状況 学習指導上の工夫の実施状況	バランスは適切であり、授業担当教員が学習指導上の工夫を行っている。	A	
			(3) CPIに基づき、教養教育や研究指導が適切に行われているか。	特例適用専攻科の認定に係る資料	特例認定専攻科としての審査に合格しており、CPIに基づき教養教育や研究指導が適切に行われている。	A	
			(5) 成績評価・単位認定基準および修了認定基準がCPIに沿って策定され学生に周知されているか。また成績評価・単位認定に関する学生の認知を把握する特別日課成績評価や単位認定に関する学生の認知を把握するチェックリスト成績評価結果に関する学生からの異議申立に関する規程	成績評価や単位認定に関する規定 成績評価のチェック実施が分かる資料 自学自修の評価の把握ができる成績単票 成績評価や単位認定に関する学生への周知が分かる資料(学生便覧) 「成績評価や単位認定に関する学生の認知を把握する特別日課成績評価や単位認定に関する学生の認知を把握するチェックリスト成績評価結果に関する学生からの異議申立に関する規程	成績評価・単位認定基準および修了認定基準は規則に明記され、学生に周知されており、学校がその状況を把握している。成績評価・単位認定および修了認定が適切に実施されているかは、専攻科委員会で確認が行われている。	A	
			(1) 専攻科APIに沿って適切な入学選抜方法が採用され、実際の学生受入れが適切に実施されているか。	学生募集要項 学力選抜面接要項 推薦選抜評価方法 学力選抜評価方法	入学選抜の要項と評価方法が、APIに沿って決められており、それに従い学生の受け入れを行っている。	A	
8-B	APIに沿った専攻科学生の受入れ	(2) APIに沿った入学者を受入れるかどうかを検証する取り組みが行われており、その結果が入学選抜の改善に役立てられているか。	アドミッション・ポリシーに沿った学生を受け入れられているか検証する組織 検証結果に基づいた改善の例	専攻科委員会等で入学した学生がAPIに沿った人物であったかを確認し、その評価を基に選抜方法の改善を提案し、教務委員会にて審議のうえ認められている。	A		
		(3) 実際の入学人数が入学定員に対して適切か。	入学定員に関する規定 入学定員と実入学人数との関係を把握し改善を図る組織 平均入学定員充足率計算表 前期後期の学力試験による学生募集 学生募集要項(2次募集)	就職指向が強い船舶学科の学生をベースとする海事システム学専攻においては、定員割れをする年度があるが、二次募集や二回の学力試験など受験機会を多くしている。また、海技士国家試験合格者を対象とする試験を新設して、志望者を増やす努力を継続している。	B	・海事の学生入学人数が少なく、抜本的な改革が必要。	
8-C	専攻科の学習・教育の成果	(1) 成績評価・修了認定の結果から判断してDPIに沿った学習・教育の成果が認められるか。	修了認定から教育成果を把握する組織 専攻科カリキュラム・ポリシーと成果の関係が分かる資料	修了判定によりDPIに沿っているか判定できるようカリキュラムを構成している。修了時の成績は良好であり、DPIに沿った学習・教育研究の成果が認められる。	A		
		(2) 学生、修了生、進路先関係者等からの意見聴取の結果から判断してDPIに沿った学習・教育・研究の成果が認められるか。	意見聴取から成果を把握組織 意見聴取の実施状況がわかる資料 修了時アンケート結果 29年度卒業・修了生へのアンケート回答表 29年度就職・進学先アンケート回答表 学生が修了時に身に付けた能力の把握、評価の状況が分かる資料	DPIに沿っているかを問うアンケートを行っており、修了時のアンケート結果は、厳しい意見もあるが全体的には良好である。また、修了(卒業)生、進路先関係者等からのアンケート結果は、本科との区別がつかず評価は難しいが、概ね好評である。このことから、DPIに沿った学習・教育・研究の成果があがっているといえる。	A	学校全体として成果が上がっていると判断できる。	
		(3) 就職や進学など修了後の進路状況から判断して学習・教育・研究の成果が認められるか。	令和元年度修了生進路先一覧 専攻科学位取得率	修了時の進路の決定の割合はほぼ100%を継続しており、育成する学生像にあった進路となっていることから、学習・教育・研究の成果が認められるといえる。	A		
A. 研究活動の状況	A-A	研究活動の状況	(1) 研究活動に関する目的、基本方針、目標等が適切に定められているか。	研究活動に関する目標が定められていることがわかる資料	本校の研究活動に関する目標として研究の基本方針を定めており、ホームページで公開している。	A	
			(2) 研究活動等の目的に照らして、研究体制及び支援体制が適切に整備され機能しているか。	研究活動の目的等を達成するための実施体制を示す規程(研究主事)研究活動の目的等を達成するための組織がわかる資料(研究主事組織図) 研究活動の目的等を達成するための実施体制を示す規程(テクノセンター) 研究活動の目的等を達成するための組織がわかる資料(テクノセンター組織図) 実施体制が整備されていることがわかる資料 研究体制が整備されていることがわかる資料 研究の支援体制を三才相定	学内に研究主事をおき、各学科から選出された研究主事補とテクノセンターに所属する技術職員によりテクノセンター運営委員会を開催し、研究を推進している。 また、三重県工業研究所と包括連携を結び、双方の施設見学を行いつつ、人的交流を進めている。工業研究所が所有する設備の一覧を共有し、有効に活用しつつ共同研究を進めている。	A	
			(3) 研究活動の目的等に沿った成果が得られているか。	研究の成果がわかる資料(外部資金一覧) 活動の成果がわかる資料(紀要) 研究活動の成果を教育に還元していることがわかる資料	科研費の申請支援を実施した結果、申請率は、ほぼ100%になってきた。研究助成金、共同研究、受託研究についても一定数以上は獲得している。これらの研究の一部は卒業研究、特別研究として取り組み学生も参画している。	B	外部資金への応募が少ない、科研費の採択が少ない。教員の意識変革が必要。
			(4) 研究活動等の実施状況や問題点を把握し、改善を図っていくための体制が整備され、機能しているか。	改善の体制がわかる資料 具体的な改善事例のわかる資料	外部資金獲得のために、学内グループウェアの掲示板に情報掲載しているが、メールで連絡したほうが閲覧機会が向上するということがアンケート調査により判明したので、定期的にメールにて外部資金情報を通知するようになった。	A	
B. 地域貢献活動等の状況	B-A	地域貢献活動等の状況	(1) 地域貢献活動等に関する目的、基本方針、目標等が適切に定められているか。	地域貢献活動等に関する目標が定められていることわかる資料 地域貢献活動等に関する目的が定められていることわかる資料 地域貢献活動等に関する基本方針が定められていることがわかる資料	本校の地域貢献活動に関する目標・目的として地域連携の基本方針を定めており、ホームページで公開している。	A	
			(2) 地域貢献活動等の目的に照らして活動が計画的に実施されているか。	方針が策定されていることがわかる資料 計画的に実施していることがわかる資料 イニシアティブ4.0事業報告書(実施体制)	2019年度に学科改組を行い、情報機械システム工学科を設立した。これからの社会に対応するため、プログラミングをはじめとする論理的思考能力を涵養し、様々な分野に展開できる人材育成をすすめる。 なお、これらのカリキュラムの検討・実践のために、イニシアティブ4.0事業に取り組み、多くのノウハウ、成果を得た。	A	
			(3) 実績や参加者等の満足度等から判断して、目的に沿った活動の成果が認められるか。	地域貢献活動の成果がわかる資料	公開講座や出前授業を積極的に行っており、実施後はアンケート調査を行い改善につなげている。 地域連携PBLとして、学生が実際に地域と連携した活動を実践している。学生向けの発表会で事例報告するほか、一部の活動については地域住民のみで自立的に実施できている活動もある。	A	
			(4) 地域貢献活動等に関する問題点を把握し、改善を図っていくための体制が整備され、機能しているか。	改善の体制がわかる資料 具体的な改善事例を示す資料	公開講座の実施については、年度毎に内容を見直し、定員を充足するように工夫している。近年は、プログラミングの講座が人気があるため、回数を増やすなどに対応している。	A	